

地域とともに

～地域との連携をさぐって～

【防府市 桑山中学校区】

地域の概要

防府市中心部にある桑山の西側に立地しており、農村地域と新興住宅地域が混在し、活動的で人の交流も盛んな地域です。通学区は、華浦小学校区全域、華城小学校区の過半、新田小学校区・佐波小学校区の一部で、それぞれ地域により特色をもっています。桑山中学校は防府市内では生徒数が最も多い中学校です。

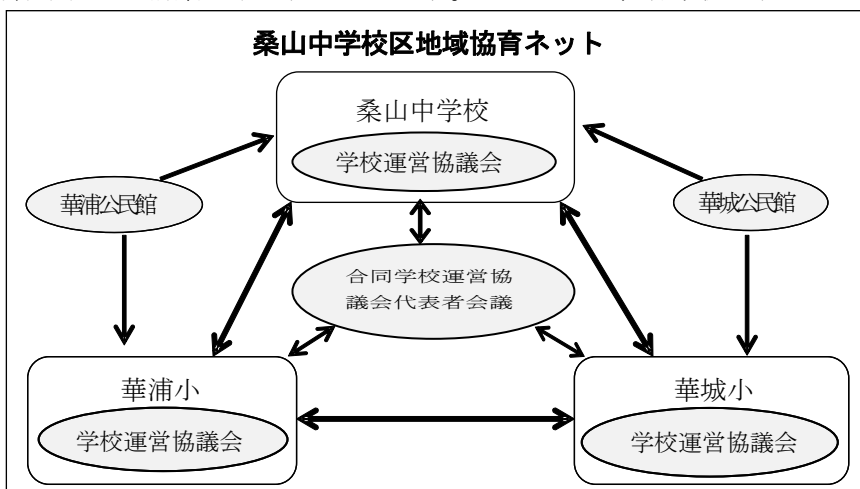
人 口	24,164 人	
世帯数	6,455 世帯	
対象校及び 児童生徒数	桑山中学校	643 人
	華浦小学校	481 人
	華城小学校	790 人
	新田小学校	507 人
	佐波小学校	488 人

※華浦小学校は全員、華城小学校は9割、新田小学校は約3割、佐波小学校は数人が桑山中学校に入学

組織の内容

桑山中学校は平成 23 年度に学校運営協議会を立ち上げ、コミュニティ・スクールとしてスタートしました。そして、防府市では、平成 24 年度に全小・中学校にコミュニティ・スクール制度が導入され、桑山中学校区内の各小学校でも学校運営協議会が設置され、各委員からの意見を集約し、地域とともにある学校づくりに取り組んでいるところです。桑山中学校区では、桑山中学校、華浦小学校、華城小学校の学校運営協議会を推進母体として、各公民館や地域コミュニティ・ボランティアグループなどとの連携も含めた地域協育ネットの構築に取り組んでいます。そのために、各学校で行っている学校運営協議会を学期に 1 回程度 3 校合同（代表者）で行い、各学校の活動の紹介や合同で取り組めることなどを検討する仕組みづくりにも取り組んでいます。

今後も学校運営協議会を中心に 3 校の連携をより強くして、地域ぐるみで子どもたちを支援していく環境づくりを進めていきたいと思ひます。



特色・重点的な取組

学校と公民館の連携が盛んであり、公民館と生徒会で一緒にボランティア活動を企画して地域の方と一緒に取り組んだり、公民館で行われる小学生対象の工作教室や科学教室に中学校の美術部や科学部の部員が指導者として参加したりしました。また、公民館で行われる地域の文化祭での中学生ボランティア、吹奏楽部の演奏、美術部や科学部による作品展示や発表を行いました。さらに、今年度からは、公民館主催で夏休みに中学 3 年生対象の学習教室も行いました。

小中連携については小・中合同の学力向上に向けての研修会、小学生の中学校訪問、小学校保護者への中学校の学校だよりの配付など積極的な連携に取り組んでいます。さらに、今年度は華道部への支援、2 校の小学校の読み聞かせボランティアの方に中学校に来ていただき、1 年生に読み聞かせをしていただくとともに、中学校の読み聞かせボランティアの組織づくりにも協力していただきました。

主な活動の紹介

○学校から地域への支援（公民館との連携）

夏休みには、小・中学校と公民館とが共同で佐波川の清掃を企画し、地域の方とともに活動を行ったり、公民館が主催する図画工作教室や科学工作教室に中学校の美術部員・科学部員が指導者として参加したりしました。また、秋には地域の文化祭等での中学生ボランティア、吹奏楽部の演奏、美術部や科学部による作品展示や発表を行いました。



佐波川清掃企画会議



文化祭の手伝い



科学工作教室

○小中連携

小中連携では、生徒指導連絡協議会、教育相談担当連絡会、養護教諭連絡会などを行い、情報交換と共通理解に努めています。また、小・中合同の研修会を始め、小・中での授業交流（出前授業など）を積極的に行ったり、6年生の学校見学や部活動見学などを企画したりし、「中1ギャップ」の解消にも努めています。さらに、中学校の学校だよりを小学校の保護者にも配付し、中学校からの情報発信にも努めています。



読み聞かせボランティア



小中合同研修会

○地域から学校への支援

1年生では「働く人に学ぶ」、2年生では「卒業生に学ぶ」の学習で地域にお勤めの方や卒業生に職業紹介や高校紹介などをしていただき、将来について考える機会をつくっています。また、家庭科の調理実習に地域の食生活改善推進員さんにゲストティーチャーとして参加をしていただいたり、華道部の指導を地域の「子どもいけばな教室」講師の方に来ていただいたりしています。



働く人に学ぶ



いけばな教室



調理実習

成果と課題

今年度は小学校の読み聞かせボランティアの方と連携をし、中学校にも読み聞かせボランティアの組織を立ち上げることができました。保護者だけでなく、自治会を通して地域の方にも募集の呼びかけを行い、地域の方にも参加をしていただいています。また、地域の方に始業式で祝賀演奏として琴の演奏を披露していただいたり、立志式で、地域在住の能楽師の方に舞を披露していただくとともに、はなむけの言葉をいただいたりするなど、地域人材の協力による活動に取り組んでいます。しかし、このようなネットワークづくりは学校だけでは限界があります。今後は、地域人材と学校をつなぐコーディネーター（社会教育指導員）や学校運営協議会を中心に地域との連携を更に深め、ネットワークを広げていくことがこれからの課題です。

今後の取組

今後は、3校の学校運営協議会と公民館・地域コミュニティが連携して既存の取組や組織を体系化するとともに、新しい地域の人的・物的資源の効果的な活用を検討していき、子どもたちの育ちや学びを地域とともに支えていきたいと思えます。また、地域からの支援を受けるだけでなく、学校からも地域へ積極的に出向き、地域との絆をより強いものにするとともに、学校間の連携をさらに強化し、地域ぐるみで子どもを育むネットワークづくりに努めたいと思えます。